

新学術領域研究（研究領域提案型）国際活動支援班

「J-Physics：多極子伝導系の物理の国際展開」

若手研究者の相互派遣公募

平成27年度から31年度まで、標記の研究課題が採択されました。これは、今年度から新設された科研費「国際共同研究加速基金」の一つで、新学術領域研究の中でも「我が国の強い研究領域における国際共同研究等の加速」を目的としたものです。新学術領域研究「J-Physics：多極子伝導系の物理」の国際活動を支援する標記課題の必要性が認められ、採択にいたりました。

国際活動支援班として期待される成果は、「我が国が強い学問分野を中心に国際共同研究の推進や優秀な若手研究者の相互派遣などによる国際的な研究者コミュニティにおける長期にわたる確かなネットワークの形成により、成熟社会である我が国の学術研究が国際的な研究者コミュニティをリードし、国際社会における我が国の存在感を維持・向上」させるとしています。この成果をあげるために、本領域では以下の3つのネットワークの形成を行います。

- ・ 個々の基盤的共同研究を有機的に結合した国際共同研究ネットワーク
（国際共同研究ネットワーク）
- ・ 我が国が得意とする「高品質・高性能」の特長を活かした試料育成ネットワーク
（試料育成ネットワーク）
- ・ ウラン系化合物研究の国際連携ネットワーク
（ウラン化合物研究国際連携ネットワーク）

ネットワーク形成のために、これまでに築いてきた国際連携拠点との間に、若手研究者の相互派遣を行う。この相互派遣は、原則的に公募で行い、研究計画書などを審査のうえ、国際活動支援班で決定する。派遣者は報告書の提出と研究会などでの報告を義務付け、領域で計画している国際集会などに積極的に関わっていただく。研究期間の5年間に、3ヶ月以内の招へいや派遣を計34件行ないます。1件あたりの経費は旅費・滞在費・実験に必要な経費を含めて概ね120万円を上限とします。なお、海外での消耗品費の購入や年度をまたいでの派遣も可能です。不明な点は問い合わせてください。

申請は随時受けつけていますが、準備期間も必要ですので、出発の3ヶ月前までには申請するようにして下さい。予算は限られていますので、申請前の相談は出来るだけ早くお願いします。

海外から日本への滞在も並行して受けつけていますので、海外の研究者への紹介も行なって下さい。

国際活動支援班

研究代表者（播磨） - 領域の国際展開の統括

研究分担者（網塚, 中辻, 石田） 連携研究者（藤） - 国際展開の情報収集と支援

研究分担者（青木, 野原） - 試料育成ネットワークの形成

連携研究者（鈴木） - 国際展開の戦略検討